

<お客様の声>

会社名:株式会社石見銀山生活文化研究所
事業内容:衣料品の企画販売
社員数:約 200 名(R3 年 5 月時点)

Q. あんの会計とのお付き合いはいつからですか？

以前より、SY ワークスの佐藤芳直先生に学ばせていただいております。令和元年 9 月にあんの会計が主催した特別講演会に佐藤先生がご登壇されるということで、参加しました。その際、主催者の安野さんと初めて挨拶しました。

Q. セカンドオピニオン契約をご依頼いただいた理由を教えてください。

以前は試算表だけを見ていたのですが、どこに手を打てばよいのかが分かりづらいという悩みがありました。それに、各自の見解だけで話をすると、どこか噛み合っていない感じでした。セカンドオピニオンでは、同じフォーマット(=あんの式月次決算書)の中で議論できるのがよいと思います。また今後、各店舗を管理会計ベースで経営管理をしていくためのステップとして、まずは幹部に管理会計の考え方を埋め込んでいく必要があると感じました。

さらに現在の顧問税理士には事務的な面を、あんの会計には経営的な面をアドバイスいただくことで、より客観的に経営を見られるようになる

Q. 毎月、幹部会議で「あんの式月次決算書」を用いた説明を行っています。説明を受けてみて、どんな感想をお持ちですか？

幹部の皆が同じ目線で数字の話ができるようになったのはすごく大きいと思います。会議の様子を客観的に見ながら、仮説の話に対しても未来会計図等を用いてすぐにシミュレーションしてもらえるので、いままで以上に数字に対する安心感があります。また、まだ各自の理解度に差はありますが、損益だけではなく、キャッシュ・フローや貸借対照表についても説明いただけるのは本当にありがたいですね。今後は、自社なりの指標を持てるようにしたいです。

Q. 以前、経営計画作成集中講座をご受講いただきました。経営計画に向き合ってみていかがでしたか？

経営計画の思想や考え方を理解するにはとても役立ちました。ただ実際に数字の考え方が身に付いてきたのは、セカンドオピニオンで毎月の説明を受けてからだと思います。経営計画作成集中講座とセカンドオピニオンとは、セットで受けるとより効果的です。

Q. 最後に、あんの会計にひと言をお願いします。

数字の見える化や会社の体質改善を行っていく上で、非常に助かっています。また今後は、会計数字と長期的なビジョンとの兼ね合いについても議論を深めていければと思っていますので、引き続きサポートをお願いします。